

不快な気流を感じない

MEDIFORT[®] (メディフォート)

導入事例

概要

90年以上の長きにわたり地域医療を支え続け、2018年4月に「公益財団法人 日本生命済生会 日本生命病院」と名称も新たに開院。当社はその空調・衛生・電気設備の施工を担当しました。

病室、透析室と化学療法室の吹出し口には、ベッド上の患者へのドラフト対策として、当社が開発した快適空調システム MEDIFORT[®] (メディフォート)を導入しました。病室には、下面がパンチング吹出型、側面3辺がスリット吹出型となる標準タイプを採用し、患者には直接気流を感じさせず、見舞客や医療従事者には爽やかな気流を感じさせます。この天井面からの気流を、床面近傍のメディカルコンソール吸込口に導くことで、ベッド廻りからの菌の拡散を抑制します。また透析室は、各ベッド同士が近くにあるため、事前にシミュレーションを行い、下面吹出しのみのタイプを採用しています。



建物外観



4床室導入例



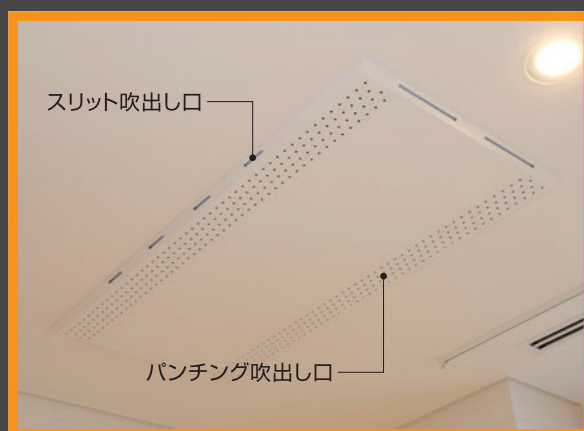
透析室導入例

【建物の概要】

所在地: 大阪府大阪市西区
工期: 2015年11月～2018年1月
構造: S造(一部RC造)
階数: 地上14階、地下1階
延床面積: 38,107.72㎡

【MEDIFORT[®]】

病室、透析室、ほか 合計約360台



個室に導入したMEDIFORT[®]

検証結果

開院前に病室の風速を三次元風速計で測定しました。結果は右の図のように、ベッド上部の風速は0.07～0.15m/sと小さく、冷房時のドラフトの有無の判断基準値に比べて、十分に小さいことが確認できました。この図は4床室のデータですが、室形状が異なる3種類の個室でも同様に測定し、風速が小さいことを確認しました。

